

一般会計

305億7,000万円
対前年度比 32億円 9.5%減

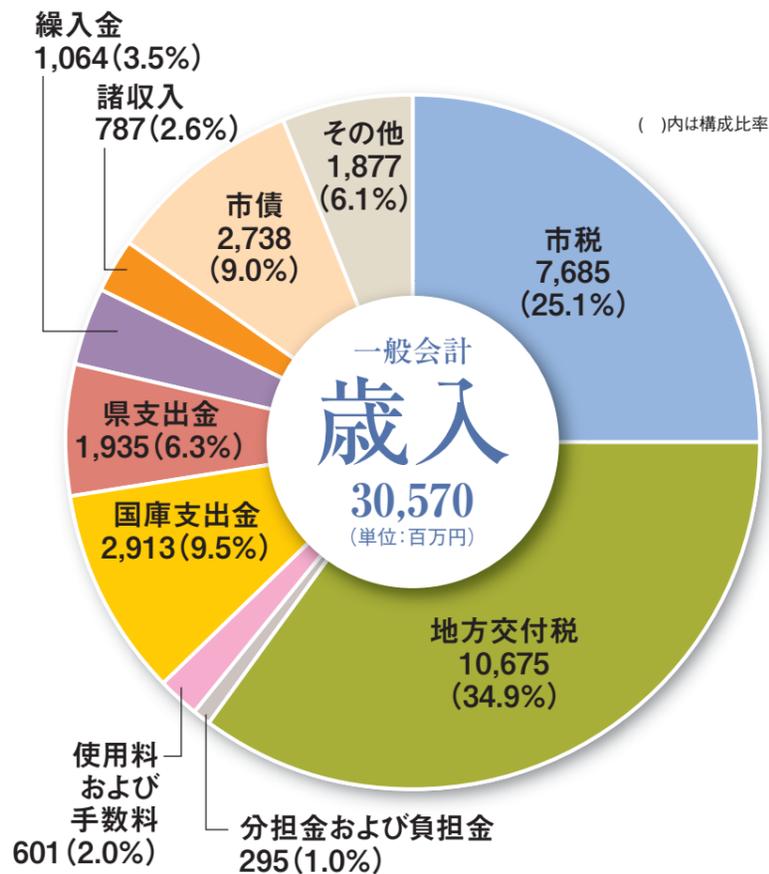
予算総額 637億2,747万5千円

(一般会計・特別会計を合わせたもの) 対前年度比 35億8,043万円 5.3%減

歳入の柱である市税は、市民税や固定資産税などを合わせ76億8,500万円、地方交付税は、106億7,500万円を見込んでいます。

市債は、博物館の整備など総額27億3,820万円を予定しています。

また、ふるさと納税振興基金に加え、子ども・子育て基金や地域づくり推進基金などから総額5億7,414万8千円、財政調整基金から4億9,000万円を繰り入れ、財源を確保しています。

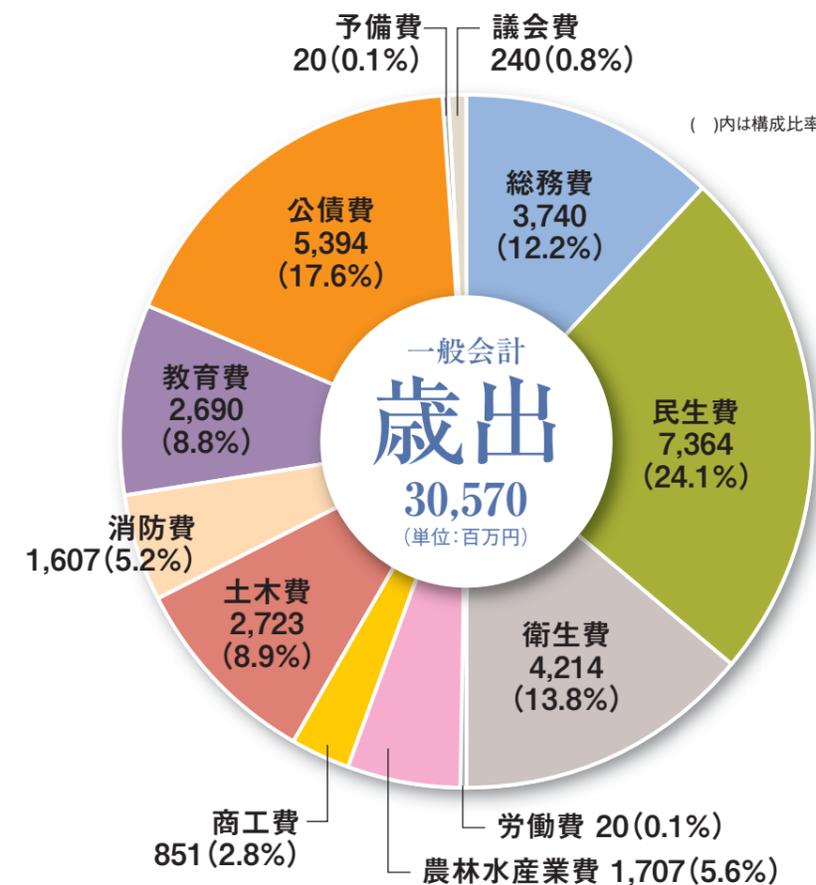


用語解説 / 歳入

市税	市民税、固定資産税など
地方交付税	地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体へ交付するもの
国庫支出金	各種事業に対する国からの補助金など
県支出金	各種事業に対する県からの補助金など

用語解説 / 歳出

総務費	市の事務・庁舎管理、市民活動の推進などに要する経費
民生費	児童・高齢者・障害者福祉、生活保護、福祉医療などに要する経費
衛生費	各種健診、予防接種、環境保全、ごみ処理、し尿処理などに要する経費
教育費	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費
公債費	市債を返済する元利償還金などの経費



主なものとして、総務費では、ふるさと納税寄付金の返礼品などに2億65万1千円、民生費では、私立保育所の大規模改修に対する補助金として9,041万9千円を計上しています。

また、商工費では、和倉温泉多目的グラウンドの人工芝張り替えに3億7,957万6千円、消防費では、119番通報をより迅速に処理する高機能指令システムの更新に3億7,625万5千円、教育費では、平成30年秋の開館を目指す博物館の整備に5億1,775万6千円をそれぞれ計上しています。

平成28年度にいただいたふるさと納税寄付金を平成29年度のまちづくりに活用します。



- 若い世代が結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる
- 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
- 七尾市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 七尾市への新しい人の流れをつくる



公営企業以外の特別会計

項目	金額	対前年度比
ケーブルテレビ事業特別会計	4億6,054万2千円	(△1.5%)
国民健康保険特別会計	76億3,307万2千円	(1.5%)
後期高齢者医療保険特別会計	6億9,265万2千円	(0.9%)
介護保険特別会計	68億7,556万2千円	(△1.5%)
簡易水道事業特別会計	7,730万3千円	(△75.9%)
下水道事業特別会計	38億9,325万1千円	(△ 1.1%)
公設地方卸売市場事業特別会計	8,468万2千円	(△37.7%)
西岸財産区特別会計	11万8千円	(0%)

公営企業の特別会計

項目	金額	対前年度比
水道事業会計	27億5,666万円	(△3.1%)
病院事業会計	106億8,363万3千円	(0.3%)